



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9069 URL <http://www.senkogrouphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 06-6440-5156  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	282,070	8.3	10,343	13.6	10,155	8.4	6,431	14.5
2019年3月期第2四半期	260,339	7.4	9,108	14.0	9,368	16.7	5,616	29.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,406百万円 (6.2%) 2019年3月期第2四半期 6,033百万円 (△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.34	39.27
2019年3月期第2四半期	36.96	34.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	348,111	131,101	35.4	810.44
2019年3月期	340,491	126,895	35.0	785.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 123,157百万円 2019年3月期 119,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	5.7	20,900	6.5	21,000	5.7	12,200	4.4	80.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	152,861,921株	2019年3月期	152,861,921株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	898,205株	2019年3月期	1,024,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	151,909,767株	2019年3月期2Q	151,958,664株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2020年3月期2Q 349,257株、2019年3月期 351,500株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2020年3月期2Q 352,988株、2019年3月期 353,000株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日以下「当第2四半期」)における日本経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、米中の貿易摩擦による海外経済の減速顕在化などで、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当第2四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	260,339	282,070	21,730	8.3%
営業利益	9,108	10,343	1,235	13.6%
経常利益	9,368	10,155	787	8.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,616	6,431	814	14.5%

当第2四半期の連結営業収益は、拡販や料金改定の効果、物流センターの開設効果、海外のグループ会社及びライフサポート事業会社を連結子会社化したことなどにより、2,820億70百万円と対前年同期比217億30百万円の増収となりました。

利益面におきましては、外注費の上昇などのコストアップがありましたが、先に述べた増収効果、生産性向上の取り組みなどにより、連結営業利益は、103億43百万円と対前年同期比12億35百万円の増益、連結経常利益は、101億55百万円と対前年同期比7億87百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、64億31百万円と対前年同期比8億14百万円の増益となりました。

当第2四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	184,044	196,199	12,155	6.6%
セグメント利益	7,403	8,808	1,405	19.0%

前年度に開設した物流センター並びに、センコー株式会社が当年度5月に稼働させた「印西ロジスティクスセンター」及び株式会社ランテックが7月に稼働させた「関西支店センター」の開設効果、拡販や料金改定の効果、海外のグループ会社7社を連結子会社化したことなどにより、営業収益は1,961億99百万円と対前年同期比121億55百万円の増収、セグメント利益は88億8百万円と対前年同期比14億5百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	70,427	77,903	7,476	10.6%
セグメント利益	1,136	995	△141	△12.4%

大手量販店グループ向け家庭紙の拡販、貿易事業でのケミカル素材・アパレル商材の拡販などがありましたが、外注費の上昇などのコストアップがあり、営業収益は779億3百万円と対前年同期比74億76百万円の増収、セグメント利益は9億95百万円と対前年同期比1億41百万円の減益となりました。

(その他事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	5,868	7,967	2,099	35.8%
セグメント利益	775	906	130	16.9%

飲食事業を展開するウエノ商事株式会社(2019年10月1日付で株式会社ライフイトへ商号変更)を連結子会社化したこと、介護・フィットネス店舗の新規出店などにより、営業収益は79億67百万円と対前年同期比20億99百万円の増収、セグメント利益は9億6百万円と対前年同期比1億30百万円の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期末における総資産は、3,481億11百万円となり、前期末に比べ76億20百万円増加いたしました。

流動資産は、1,210億80百万円となり、前期末に比べ38億17百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が19億59百万円、電子記録債権が4億66百万円、商品及び製品が6億79百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、2,270億12百万円となり、前期末に比べ38億16百万円増加いたしました。これは、投資その他の資産が22億17百万円減少したものの、有形固定資産が47億29百万円、無形固定資産が13億4百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期末における負債合計は、2,170億10百万円となり、前期末に比べ34億14百万円増加いたしました。

流動負債は、1,043億19百万円となり、前期末に比べ56億49百万円増加いたしました。これは、未払法人税等が8億52百万円減少したものの、支払手形及び営業未払金が24億69百万円、短期借入金が53億88百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、1,126億91百万円となり、前期末に比べ22億35百万円減少いたしました。これは、長期リース債務が21億5百万円増加したものの、長期借入金が46億61百万円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期末の純資産は、1,311億1百万円となり、前期末に比べ42億6百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が42億65百万円増加したことなどによるものであります。自己資本比率は前期末から0.4%上昇し、35.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、19億80百万円増加し、247億82百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、150億39百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が101億81百万円、減価償却費が75億94百万円、賞与引当金の増加による資金の増加が7億9百万円、売上債権の減少による資金の増加が7億66百万円あったものの、棚卸資産の増加による資金の減少が9億98百万円、法人税等の支払額として42億85百万円支出したことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは95億90百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得に80億44百万円、差入保証金の差入に16億47百万円支出したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、38億10百万円の支出となりました。これは、短期借入金の純増額が15億9百万円、長期借入れによる収入が44億58百万円あったものの、長期借入金の返済に57億1百万円、ファイナンス・リース債務の返済に19億44百万円、配当金の支払額に19億71百万円支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,232	27,192
受取手形及び営業未収入金	71,311	71,091
電子記録債権	1,785	2,252
商品及び製品	8,513	9,193
仕掛品	670	897
原材料及び貯蔵品	583	654
その他	9,181	9,835
貸倒引当金	△14	△35
流動資産合計	117,263	121,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,645	66,336
土地	59,669	60,279
その他(純額)	37,899	40,328
有形固定資産合計	162,214	166,944
無形固定資産		
のれん	7,446	8,078
その他	4,576	5,249
無形固定資産合計	12,022	13,327
投資その他の資産		
投資有価証券	20,260	18,260
長期貸付金	3,888	2,991
退職給付に係る資産	3,088	3,388
差入保証金	13,271	13,786
繰延税金資産	5,138	5,104
その他	4,019	3,996
貸倒引当金	△709	△788
投資その他の資産合計	48,958	46,740
固定資産合計	223,195	227,012
繰延資産		
開業費	32	19
繰延資産合計	32	19
資産合計	340,491	348,111

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	37,603	40,072
電子記録債務	7,047	7,146
1年内償還予定の社債	48	48
短期借入金	21,580	26,968
リース債務	3,181	3,458
未払法人税等	4,242	3,389
賞与引当金	5,253	5,965
役員賞与引当金	347	181
災害損失引当金	103	—
その他	19,261	17,089
流動負債合計	98,669	104,319
固定負債		
社債	17,120	17,096
転換社債型新株予約権付社債	10,029	10,024
長期借入金	64,696	60,035
リース債務	10,500	12,605
役員退職慰労引当金	180	186
特別修繕引当金	80	94
株式給付引当金	124	157
退職給付に係る負債	6,970	6,666
資産除去債務	1,011	1,167
その他	4,212	4,655
固定負債合計	114,926	112,691
負債合計	213,595	217,010
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,528	26,528
資本剰余金	29,841	29,724
利益剰余金	62,983	67,249
自己株式	△697	△652
株主資本合計	118,656	122,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,350	1,016
繰延ヘッジ損益	△3	△24
為替換算調整勘定	122	130
退職給付に係る調整累計額	△920	△814
その他の包括利益累計額合計	548	307
新株予約権	424	432
非支配株主持分	7,265	7,511
純資産合計	126,895	131,101
負債純資産合計	340,491	348,111



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業収益	260,339	282,070
営業原価	232,038	248,942
営業総利益	28,301	33,128
販売費及び一般管理費	19,192	22,784
営業利益	9,108	10,343
営業外収益		
受取利息	57	52
受取配当金	93	89
その他	1,041	843
営業外収益合計	1,192	985
営業外費用		
支払利息	561	551
その他	371	621
営業外費用合計	932	1,173
経常利益	9,368	10,155
特別利益		
受取保険金	—	144
抱合せ株式消滅差益	—	51
固定資産売却益	365	32
補助金収入	1,156	—
関係会社貸倒引当金戻入額	40	—
特別利益合計	1,563	228
特別損失		
関係会社貸倒引当金繰入額	—	77
固定資産除却損	87	69
訴訟和解金	—	55
固定資産圧縮損	1,144	—
災害損失引当金繰入額	267	—
子会社整理損	168	—
事業所撤退損	96	—
特別損失合計	1,765	202
税金等調整前四半期純利益	9,166	10,181
法人税、住民税及び事業税	3,381	3,376
法人税等調整額	△21	134
法人税等合計	3,359	3,511
四半期純利益	5,806	6,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	239
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,616	6,431

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,806	6,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268	△344
繰延ヘッジ損益	82	△21
為替換算調整勘定	△313	△3
退職給付に係る調整額	190	105
その他の包括利益合計	227	△263
四半期包括利益	6,033	6,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,938	6,134
非支配株主に係る四半期包括利益	95	272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,166	10,181
減価償却費	7,003	7,594
のれん償却額	240	364
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	97
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△29	△67
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△229	△363
賞与引当金の増減額 (△は減少)	676	709
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	267	△103
受取利息及び受取配当金	△150	△141
為替差損益 (△は益)	169	409
支払利息	561	551
補助金収入	△1,156	—
受取保険金	—	△144
訴訟和解金	—	55
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△51
子会社整理損	168	—
固定資産圧縮損	1,144	—
固定資産売却損益 (△は益)	△349	△30
固定資産除却損	87	69
売上債権の増減額 (△は増加)	△993	766
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△547	△998
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,530	588
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,223	37
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,815	376
その他	△989	△86
小計	14,074	19,815
利息及び配当金の受取額	139	46
利息の支払額	△558	△552
法人税等の支払額	△4,631	△4,285
その他	310	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,335	15,039
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,042	△2,033
定期預金の払戻による収入	1,007	2,148
有価証券の取得による支出	△2,080	—
有形固定資産の取得による支出	△16,293	△8,044
有形固定資産の売却による収入	9,244	408
関係会社株式の取得による支出	△1,146	—
差入保証金の差入による支出	△899	△1,647
その他	77	△422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,133	△9,590
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,316	1,509
長期借入れによる収入	2,311	4,458
長期借入金の返済による支出	△3,359	△5,701
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,979	△1,944
非支配株主からの払込みによる収入	2,305	—
配当金の支払額	△1,697	△1,971
非支配株主への配当金の支払額	△72	△162
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△169	—
その他	△168	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,486	△3,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	△40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,384	1,598
現金及び現金同等物の期首残高	23,795	22,801
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,093	315
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	66
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,504	24,782

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として9年に変更しております。

この変更に伴い、従来、費用処理年数によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ73百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	184,044	70,427	5,868	260,339	—	260,339
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,174	5,996	4,828	12,000	△12,000	—
計	185,219	76,424	10,696	272,340	△12,000	260,339
セグメント利益	7,403	1,136	775	9,315	△206	9,108

(注) 1. セグメント利益の調整額△206百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	196,199	77,903	7,967	282,070	—	282,070
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,163	6,195	4,754	12,112	△12,112	—
計	197,363	84,099	12,721	294,183	△12,112	282,070
セグメント利益	8,808	995	906	10,710	△366	10,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△366百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。